大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞
夕刊　七月八日（日）

發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

# 收穫悲觀說も手傳ひ 米價騰るのみ
## 撫順米八圓五十錢

饅上りと云はうか天井知らずと云はうか最近の米相場の足取りはグラフを二割三割と＝飛躍＝して今日は遂に撫順米八圓五十錢と狂奔振りを示し豪所を脅威してゐるが一体何時頃から騰り始めたかと足取りを調べて見ると五月下旬には五圓四十錢見當を上下してゐたのが六月中旬より下旬にかけて一躍七圓の高値を唱へ凹しそれからジリジリと騰貴の一途を辿り新京の撫順米相場は遂に八圓五十錢に迄騰つて新米の出る迄まだ三ヶ月端境期を控へそれに今秋の收穫悲觀說の材料でこれからも騰るばかりと觀測され多人數を賄ふ所謂「寮」等は急に賄費を上げる譯にも行かずひどきは相當と觀られてゐる、近來稀な全滿的のこの米價高の原因と觀られるのは十二月末以後の下落步調に小商人は持ちこたへられず賣りの一途に出たため益々下落に拍車を加へ大部分の手持品が出終つたと見られる六月中旬頃は品不足が唱へられ出しそれに加へて統制法の發動に依る內地の米價高に伴れてこの騰貴を見たのであるが根本の原因は從來米は＝滿洲＝では自給自足の上輸出の余裕さへあつたのであるが、邦人の急激な增加と滿人の生活向上の結果米常食者の增加から米需要を增し剩余處が不足の懸念さへ生じたからであつて當分米價は上昇の步調を變へず豪所泣かせに進むものと觀測されてゐる

# ソ聯が哈市で
## 大豆の大量買付

【ハルビン國通】ソ聯側はハルビンに於て去る六月中に約一萬二千噸の大豆を買付けて本國に輸送したが、今後も引續き大量買付けをなす模樣である

# ウクライナ
## 獨立の氣運愈よ熟す
## ソ聯當局對策に腐心

ソ聯邦內ウクライナ地方における獨立運動氣運は濃厚となりつつあるが、最近に至りウクライナ國民派による獨立潛行運動が開始されソ聯當局はその對策に腐心してゐる同地方における司法、農工、文部等の各軍要機關は純粹なウクライナ人によつて實權が掌握されてゐる關係上ソ聯中央執行委員會の威令行はれず同地共產黨の大立物スクルキヴンガーの如きはこれが責任を感じて自殺せる事實もあるのでソ聯當局はウクライナの一角からソ聯政府崩壞の端を發すべしとなし極めて重大視し獨立黨員を極力威壓してゐるが、この程ソコブで開催されたウクライナ中央執行委員會大會の決議案中左の如き一項である

は事態の急迫を告げてゐる

吾々の直面せる最大危機はウクライナ獨立運動者と對ソ干涉國との合流である、なほ恐るべきはソ聯政權に對し不滿の白系革命分子がウクライナ國民派と協力、トロツキー派及ひ國外反革命黨員の援助をうけ、ウクライナをソ聯よりの分離を企圖し一方彼等は獨逸ポーランドの援助を期待し兩國もこれに少からぬ援助をなし對ソ戰爭を企てつつある我等のボロシノフはウクライナのソ聯離脫運動に對し鬪はねばならぬ

# 實業部で
## 松黑兩江の水產調查

【ハルビン國通】實業部では松花江、黑龍江の魚類其他水產物の調查を行ひ、水產業を開發すべく右調查員は既にハルビンを出發したが、調查の上は將來兩江に大規模の漁場が開設される事になる模樣である

# 康德元年度豫算に就て（三）
總務廳主計處長 松田令輔

又主として治外法權撤廢準備の爲め法制の整備、警察司法行刑徵稅等の制度機關及設備の改善に關する經費として司法、民政、財政其の他各部を通じ約七百萬圓を計上しました、其外必要なる經費は之を康德二年度豫算に計上して來年九月末日迄に一切の準備を了へる豫定であります、滿洲國が前に述べました樣に一方日滿兩國の根本關係に立脚して國防費を分擔せむとすると共に右の如く治外法權撤廢準備の爲相當多額の經費を豫算に計上して本格的に準備工作を進めつつあることは共に併せて深く考慮して戴き度いと思ひます、次に特に申上げ度いと思ひますのは建國公債の償還のことであります、建國公債は滿洲國の財政狀態が理解せらるるに伴ひ其の信用を增し相當の市價を保つて居りますが來年は其の第一回償還期が來ます、依つて本年度豫算には其の第一回償還金二百萬圓を計上致しました

尙は右の外減債基金が本年度豫算に於て五百五十萬圓餘に達しまするので之を以て買入償還も行ひ得る譯であります滿洲建國の事業を扶くる熱意の下に引受けられ又其の事業に甚大の貢獻を致したる建國公債が感謝の念を以て斯くの如く着々と償還せられて行くことは誠に愉快であります尙此の際念の爲附加へて申上げて置き度い事があります、即ち本年度軍政部豫算が前年度に比し增加して五千八百二十萬圓餘となり其の總豫算額に對する割合も增加したのを見て或は誤解する人があるかも知れませぬが之は國防費分擔金の關係に因るものでありまして夫を除けば大体追加豫算を含む前年度豫算額を出でて居ないのであります、國防費分擔金を含むで軍政部の豫算額が總豫算額に對し大体三〇%と謂ふのは今日の事情としては相當では無いかと思ひます

×　×

又今回の給與改正の問題は給與制度の確立が其の本旨でありまして一律減俸して直に財源を捻出し樣とするのではありませぬ、減俸に成る者も勿論ありますが夫れは給與制度が樹てられたる結果に過ぎませぬ、從つて各個に付激減となる者に對しては夫々緩和の途が講ぜられることになつてをります、但し今回の給與制度の確立に依り國の財政は將來の壓迫より免れたと謂ふことが出來ます、特別會計に付て申上げますれば本年度新たに設けれましたものに軍械廠特別會計及投資特別會計の二つがあります軍械廠特別會計は各部署に必要とする武器彈藥類の購入供給並に貯藏を爲すを目的とするものであり又投資特別會計は交通及產業開發の爲めにする特殊會社への出資、公共團體の事業資金の貸付等を營むものでありますす、何れも其の目的に依りまして特別會計と爲すを適當と認めたるに因るものであります、殊に投資特別會計は新しい試みで當該會計の性質上其の所屬資產收入の外に積極的に借入金を爲す其の財源に充て樣とするものでありまして本年度も本會計に於ては六百萬圓を借入るることに成つて居ります

×　×

國道局特別會計及北滿特別區特別會計は本年度より廢止して一般會計に合することになりました、之れは別に始めより設置すべき理論上の根據があつた譯では無く全く過渡的の辨法として設けられたのでありますから此の際廢止することにしたのであります之れに依り所謂總豫算主義が略々徹底された譯であります之を要するに帝政實施後最初の總豫算に於て相當新規事業も行ひつつ赤字も出さず國防費を分擔しそして建國公債も償還すると謂ふことは全く御同慶に堪へませぬ（完）

# 訓電未着で
## 第三次水路會議は意見の交換
## 前途に光明を見出す

本格的會商に入つた水路會議は第二次會議に於てソ聯側は一九三三年の協定を基礎とする提案をなし、滿洲國側はかゝる反古に等しい一方的協定を基礎として會議を進めんとするは到底容認し得ずと主張し、一時は會議劈頭に於て早くもデット、ロックに乘り上げんとしたが、ソ聯の讓步撤回に依り第二次會商を終り、四日午前九時より兩國の新提案を持ち寄り、第三次會商に入る事となつたが、兩國とも本國政府の訓電未着の爲單なる意見交換の程度で正午散會

第三次會商を終つた、かくて第四次會商は訓電到着次第新提案を議題に上程、六日午後二時より開かれる筈である

# 工事繁忙期に入り
## 北安鎭方面 日人激增

【北安鎭國通】當地領警分署六月末調查に依る當北安鎭の人口は男九百九十九名女四百三十九名、合計千四百三十八名で五月末千三百六十四名に比し僅かに七十四名の增加に過ぎないが目下北黑線工事の最繁期とて人員の移動甚しく實數千五百名は遙かに突破して居るものと觀られて居る、尙奧地方面に於いては龍鎭二百十六名、孫家船口百四十一名、二站百七十四名等が有りいづれも漸次增加しつゝあり今月中には北安鎭のみにても二千を突破するものと觀られて居る

# 水の爲め
## 平津間通信杜絕

【北平國通】當地は夏季に入つてより增水は例年の如くであるが、特に昨今の雨量はおびたゞしく、北平天津間電信電話線多數押流され、本朝より電信電話の通信連絡は全く杜絕するに至つた

# 寧安の經濟事情（一）

圖寧線の工事は幾多の障害に遭遇しつゝも順調に進捗しつゝあり沿線の主要都市たる東京城寧古塔、牡丹江の三都は今や躍進的發展の途を辿りつゝある、左に圖寧線の終端に當ると共に、更に牡丹江を經て佳木斯に北進する新經濟重要線の起點を占めてゐる寧古塔、又の名寧安を縣城とする寧安縣の經濟事情を窺いて見よう

## 一、地勢と面積

寧安縣は四周總て山を圍らし縣の中央部即ち東京城平野、寧安平野及ひ海林平野地方に向つて緩勾配の山脈が縱橫に派生してゐる、河川は縣の南西に當る敦化縣より所謂鏡泊湖に流入し更に北東に縱貫してゐる牡丹江を大幹川とし大小の支流が到る所の峽谷の間を貫流してゐる、其の內最も大きいのは、縣の西方に當る額穆縣との縣境老禿頂子に源泉を發する海浪河であつて、本流牡丹江と共に經濟的にも相當の價値を持つてゐる、本縣の面積は約三千二百平方粁即ち約一千平方里に當り、日本の四國より稍小といふ面積である

## 二、戶口

寧安縣の戶口は滿洲國實業部調查によると、大同元年十二月末現在に於て、三萬一千五百七十八戶、十八萬三千六百十八人でその內譯は左の如くなつてゐる

| | 戶口數 | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 滿洲人 | 三〇、五八四 | 一〇四、一〇五 | 七四、〇九三 | 一七八、一九八 |
| 內鮮人 | 九九二 | 三、三三九 | 二、一〇七 | 五、四四六 |
| 其の他 | 二 | 三 | 一 | 四 |
| 計 | 三一、五七八 | 一〇七、四四七 | 七六、二〇一 | 一八三、六一八 |

## 三、寧安を中心とする交通路

△自動車路による交通 事變前には本縣の交通運輸は東支鐵道を利用するか又は牛馬車による外なかつたのであるが、滿洲國成立以來、政府に於て鋭意道路の改修に努めた結果、縣內の道路は全く面目を一新するに至り、寧安…敦化間百十哩、寧安……東京城間二十三哩、寧安……海林間十五哩、寧安……牡丹江間二十哩の四道路延長約六十八哩には乘合、貨物の兩自動車が運行を續け、寧安……圖們間には貨物自動車が往來して開發の諸材料を盛に運搬してゐる、因みに寧安を中心に近縣主要都市間の道路及ひ距離を示すと左表の如し

| 寧安 | |
|---|---|
| 吉林 | 約二一〇哩 |
| 額穆 | 九八哩 |
| 敦化 | 一一〇哩 |
| 東京城 | 二三哩 |
| 延吉 | 一一五哩 |
| 海林 | 一五哩 |
| 牡丹江 | 二〇哩 |
| 三姓 | 一五三哩 |
| 密山 | 一五〇哩 |
| 三分口 | 一五六哩 |

# 舊政權大小官吏
## 滿洲國に復歸せん

【奉天國通】平津方面よりの情報によれば、事變後同方面に遁入した元東北政權大小官吏は武官の方は不明なるも約六千人あり、其內現在職を有するもの約三千人にして殘りの三千人は無職者の內、辛ふじて生活の維持出來るもの僅かに千人で殘りの二千人（內滿洲國に復歸せるもの七、八百人ある見込）はその日その日の生活にあえいでゐる有樣でこれ等の者は日ソ開戰のデマに惑はされて滿洲國復歸につき推移靜觀中であるが近くこの風說解消すれば大部分は滿洲國に復歸するものと思はれる

# 產金買上價格

七日發表產金買上法に基く產金買上價格左の通り決定した

產金買上價格一瓦に付 國幣三圓二角〇

# 日滿悲曲 生命線を行く（二百二十一）
國友雄吉 作　荒川芳三郎 畫

## 態度一變

淺草に近い、あるお手輕料理の小座敷に、女中を遠ざけて、男同士の差向ひの客。ひそひそ話をしてゐるのは、伊之助と、彼の楠本とであつた。

「楠本さん、折角だけれど都合に依つて今度の仕事だけは、何か願ひ下げにしてほしいものですね」

さういつた伊之助の、澄ました顏を、楠本は不思議なものでも見るやうに、ツクヅクと眺めて、

「あんなに立派な口上を述べて、男が、一旦承知をして置き乍ら、今更、願ひ下げは無いだらう」

楠本の言葉には、いくらか冷笑が含まれ、そして、何となく、狼狽へ氣味でもあつた。

そもそも今度のことゝいふのは――、伸一と勝代との仲を引割くためには、是非無くてならぬ役者として、遙々滿洲から呼び寄せられた伊之助であつた。

そこで伊之助は、斯ういふ計畫を立てた。先づ金の無心を吹きかけてみる。だがそれは謝絶られるに極つてゐる。謝絶られたらそれを切つ掛に、二人の別れ話を持出さうといふので昨日勝代の處へ出かけて行つたのであるが、その伊之助が、今日はガラリと態度一變して、「願ひ下げだ」なぞと打つて變つたことを言出したので、楠本は驚いた、驚くのも道理であつた。

しかし伊之助は、たとへ楠本がなんと言つても飽まで、我意を通さうとする。

「妹に會ふまでは、別に、なんともなかつたが、妹に會つてから急に考へが變つたので、やはり人情には勝てませんよ」

楠本は肩を揺つて伊之助のその取つてくつゝけたやうな言葉を冷笑した。

「人情だつて――？笑はせるじやないか。人情が、どうのかうのとそんな人間のいふやうなことを言はれる、おめえの柄でもなからう。そんな柄にもねえことを言つて居ねえで一ト働き働いて、そして行く行く妹をうまく嘉村さんにくつゝけてみねえ。それこそ、おめえも、おふくろも共に左團扇で飛んだ出世の蔓じやねえか」

「ところが、金なんか、もう、欲しいとは、思はなくなりましたよ」

「なに？金が欲しくねえ。――さうかい。それはなかなか大した感動だねえ――だが今度滿洲を立つ時に、こちらから、送つてやつた金に記憶があるだらうね」

「ありますとも、その金なら、返せばそれでいゝでせう」

伊之助は、無雜作に言つた。その伊之助の面に、楠本の鋭い目が、ギロリと光つた。

「金を返せば宜いなんて、馬鹿に鼻息が荒いぜ。おめえ。そんなに金があるのかい？」

「なあに、大したことはありません。――さうですね、三百圓やそこいらの金だつたら、いつでも都合が出來ますから――」

伊之助は、さう言つて、外方を向いて、額を撫でゝ居る。

楠本は瞬きもせず、ぢつと相手を視つめて居たが、

「おめえ、おれたちを裏切つたんだらう！」

「え？裏切つた――？」

「裏切つたといふ意味がわからなきや、つまり氏家のために買收されたんだらう」

「買收――？」

「この楠本の眼は節穴ぢやねえ――どうだ千里見透しだらう」

「ところが、大違ひですよ。裏切つたのでも、買收されたのでもない。只、妹が可哀想だから――それでツイ――」

「それで、ツイ――氏家から三百圓を貰つたといふ譯だらう？」

楠本の皮肉が、思はず伊之助をぎよつとさせたが、彼は、ヂツと、それを我慢した。

「ねえ？さうだらう？おめえ氏家に會つたんだらう――」

會つたら會つた。會つて話しをしたらしたと、ハツキリ言つてほしかつた。

伸一を恐れて居る楠本は、さうしないと何も安心が出來なかつた。彼は、伊之助の裏切りよりも、寧ろ、自分の東京にゐることを、伸一に發見されるのを、より以上に恐れてゐる。

# 宮中鳳凰の間にて親任式擧行せらる
## 一九三五、六年危機突破の非常時内閣成立す

（東京八日發國通）岡田海軍大將は四日大命を拜して以來鋭意組閣に着手したが、俄然政友會の入閣拒絶に依つて一時組閣難に陷らんとしたが 床次氏を始め政友會の三氏及び民政黨側の入閣決定に依つて急轉直下的に進展し、七日夜に至り漸く閣僚の詮衡を完了したので、岡田首相は八日宮中の御都合を伺ひ奉り、閣員名簿を携へ午前九時參內、天皇陛下に拜謁仰付けられ謹みて組閣の大命を拜受する旨を奉答、恭しく閣員名簿を捧呈し 天皇陛下には同十時半宮中鳳凰の間に出御、留任の大角海相侍立の上內閣總理大臣の親任式を行はせられた、次で同十一時半岡田新首相侍立の下に他の閣僚の親任式を御擧行あらせられ、廣田外相、林陸相、大角海相の辭表は却下された

任內閣總理大臣兼拓務大臣 海軍大將 岡田啓介
任內務大臣 農林大臣 後藤文夫
任大藏大臣 大藏次官 藤井眞信
任司法大臣 東京控訴院長判事 小原直
任文部大臣 松田源治
任農林大臣 山崎達之輔
任商工大臣 町田忠治
任遞信大臣 床次竹二郎
任鐵道大臣 內田信也

留任閣僚
外務大臣 廣田弘毅
陸軍大臣 林銑十郎
海軍大臣 大角岑生

## 綱紀の肅正に全力を盡す新內閣
### 飽くまで嚴正徹底的に

【東京國通】岡田內閣は齋藤內閣の綱紀紊亂事件の後をうけて立つた關係上、綱紀肅正に全力を注ぐため閣僚の詮衡についても批判すべき疑のあるものは全部これを避けて人選をなした、即ち閣員の詮衡について小原控訴院長に調査せしめた事實に觀ても內閣の綱紀肅正に對する熱意を看取し得るものあり、綱紀問題については飽く迄嚴正に且つ徹底的に肅正を圖る方針である

## 松田源治氏が文相に就任する迄

【東京國通】岡田首相は文部大臣には當初貴族院方面から選定したき意向で組閣を進めてゐたところ、政民兩黨へ各々一名宛椅子を增加した結果遂に民政黨の松田源治氏に振當てられたもので、松田氏は政黨人には稀に見る淸廉潔白な人格者で政黨方面からとるとすれば、最適任者と云はれてゐる、特に文相には曾つて大臣たりし經驗を有する者といふ點を考慮し、選定した結果、曾つて濱口內閣時代に拓相であつた松田氏がその選に當つたものである、同氏は大分縣の產、本年六十歲で愛妻家として有名であつたが、その夫人は先年總選擧の最中病歿し、今は良き父として男やもめを過してゐる

### 光榮の至りだ 松田文相談

政黨より文相に出る人はないと云はれてゐた際だから自分としては誠に光榮の至りだ

### 新內閣の最長老 町田商相も好人氣

【東京國通】町田忠治氏の商工大臣就任に關しては財界と密接な關係ある人物であり、銀行家出身であり、特に濱口內閣當時農林大臣として令名があつただけ產業界に理解を有するものとして財界から好感を以て迎へられてゐる 同氏は秋田縣の產、本年七十二才新內閣の最長老でその好々爺然たる風貌から呑氣な父さんの愛稱で人氣があるが、農村問題では議會切つての權威である、商工大臣は始めてであるが、一般財政、經濟の經驗から差し適任とされてゐる

### 最後の御奉公 町田商相談

今度は三度目の御奉公であるので出來れば若い人に讓りたいと思つてゐた、併しこの上は最後の御奉公の心算でやつ

# 政友緊急總務會で床次派三閣僚除名
## 三閣僚は離黨屆を提出

【東京國通】政友會は八日午前八時十分、本部に於て緊急總務會を開き凝議の結果滿場一致、床次、山崎、內田の三氏を黨則に照し斷乎除名することに決した

【東京國通】政友會の黨方針に反して岡田內閣に入閣した床次竹二郎、山崎達之輔、內田信也の三氏は八日午前九時四十分連名を以て政友會本部に離黨屆を提出した

## 政黨はこの際大に自重せよ
### 岡田首相は憲政常道復歸を念願してゐるのに感服 高橋前藏相語る

【東京國通】岡田大將より今後の對策につき相談を受けた高橋前藏相は語る

岡田さんの話に感服したことは、岡田さんが飽迄憲政の常道に復歸することを念願とされてゐることである 岡田さんの政黨に對する考へ方は吾輩等と同樣政黨によつて國民の意思を反映する必要があることを心から願つて居られる抑々吾輩が昨年無任所大臣を稱へた當時吾輩は政黨の信用を恢復するためにも鈴木總裁が無任所大臣として入閣する事が一番の近道だと思つてゐた、その實現には多少の時期を要するかも知れぬが政黨の面目恢復上最善の方針と考へてゐる、岡田さんは床次さんが入閣されゝば政友會は分裂するかも知れぬといふ話をして居られた、然し吾輩はこの際黨內の爭を續けることは國民の信賴を繫ぐ所以でないと思つてゐる

### 床次氏の入閣經緯談

【東京國通】床次竹二郎氏は午前二時五十分自宅で左の如く語つた

秋田君の入閣が駄目だつたのは、若い者を入れる政府の方針で秋田君の希望の久原君推薦が駄目となつたので自分は秋田君自身の入閣を再三交涉したが、どうしても駄目で遂に政府の案に從ひ山崎、內田兩氏と自分が入閣する事となつた

# 黨內の大勢を新內閣援助に導く
## 床次派の策謀注目さる

【東京國通】政友會では床次一派が黨の方針を無視して入閣したるに對して政友會としての態度決定の爲め八日午前九時本部に總務會を開いた、政友會の大勢は入閣者を除名すると共に政務官に入る者に對しても同樣除名處分にする方針で、これに對し床次一派は飽く迄も黨に留つて機の至るを待ち黨內に一大運動を起し黨の大勢を岡田內閣援助に轉向せしめんとしてゐる模樣で秘策を練つてゐるが、この問題が如何に進展し今後の動きが如何になるかは政界の分野を變更するものとして重大視されてゐる

## 政友幹部派 早晚分裂を覺悟

【東京國通】政友會は八日午前九時總務會を開き床次一派の入閣に對して黨の態度を協議したが、幹部派に於ては閣僚、政務官は入閣と同時に離黨するものと見てゐるが離黨せぬ際は除名處分に附すべく而も其他の床次支持派の脫黨の如きはあるまいが早晚分裂の運命は免れぬものと觀測してゐる

# 拓務省の廢止
## 適當の機會に實現

（東京國通）拓務大臣の椅子は對滿政策の關係上、軍部、外務方面で之を置くことに反對論があるので岡田大將はこの情勢に鑑み、拓務大臣を一時首相兼攝でやることに決定したので、この結果やがて適當の機會に拓務省の廢止が行はれるのではないかと云はれてゐる

### 貴族院からの政務官 大臣の埋合せに加減が

【東京國通】貴族院から新內閣の政務官候補者の下馬評に上る人は海軍政務次官堀田政恒（留任）陸軍政務次官土岐章（留任）の他に研究會は織田信恒子、楠本實變伯、鍋島直縄子、高木正得子、舟橋清賢子、公正會大森佳一男、稻田昌植男、大藏公望男、井田盤楠男、松平外與麿男らが數へられ、今回の組閣は貴族院より閣僚を出さゞるため政務官の數に於て幾分加減するものと見られてゐる

### 新閣僚の戶籍調べ

【東京國通】長老內閣と云はれた齋藤前內閣と比べると今度の岡田新內閣はずつと新鮮な感じである、平均年齡も齋藤內閣成立頭初の平均六十三歲以上であつたのに對し新內閣は五十九歲强である、各閣僚の年齡と出身縣別は左の通りで最年少は藤井大藏大臣の五十歲、最年長は町田商工大臣の七十二歲である

| 氏名 | 年齡 | 出身縣 |
|---|---|---|
| 岡田啓介 | 六十七歲 | （福井縣） |
| 廣田弘毅 | 六十七歲 | （福岡縣） |
| 後藤文夫 | 五十一歲 | （大分縣） |
| 藤井眞信 | 五十歲 | （德島縣） |
| 林銑十郎 | 五十九歲 | （石川縣） |
| 大角岑生 | 五十九歲 | （愛知縣） |
| 小原直 | 五十八歲 | （新潟縣） |
| 松田源治 | 六十歲 | （大分縣） |
| 山崎達之輔 | 五十五歲 | （福岡縣） |
| 町田忠治 | 七十二歲 | （秋田縣） |
| 床次竹二郎 | 六十八歲 | （鹿兒島縣） |
| 內田信也 | 五十五歲 | （茨城縣） |

# 軍部と步調が整へば拓務省廢止の要なし
## 渡邊東拓支店長語る

拓、大臣の首相兼攝は時節柄拓務省の廢止により滿洲の內外における政治を完全に三位一體制にする前提ではないかと思はれてゐるが右について東拓新京支店長渡邊得司郎氏は次の如く語つた

要は拓相の椅子につく人と同省の運用如何によるものと思はれますが、拓務省が軍部とよく步調がとれて運用よろしきを得れば別に廢する必要はないと考へられます、勿論拓務省が廢止されるとしても滿洲の政策に影響があるやうなことはないでせう

# 非常時局突破に適切なる强力內閣
## 岡田新內閣は各方面とも好評

【東京國通】四日午後二時大命を拜受した岡田新首相は後藤、河田兩參謀と懸命の努力を續けた甲斐あつて

＝一時＝は政友會關係で暗礁に乘りあげ重臣其他政界各方面を少からず心配させたが、床次氏一派の入閣實現で曲りなりにも組閣の根本方針たる擧國一致の實を擧げ陸、海、外、內、藏の內閣中樞の六椅子を官僚系新人及び前內閣以來の中堅有力閣僚を以て揃へたことは素人であるだけに大出來であつたと言へる、特に副產物として政友會の不自然な大多數に御擊を與へ、政黨政治の將來に或る種の示唆を與へた事は新內閣の將來に多少の期待を懸け得るものである、尙新內閣の强みとしては、岡田新首相が組閣當初先づ陸海兩相の留任を確保した事である、が之は軍部が新內閣に政策上熾烈な要望を懷いてゐる事を豫め察知し軍部大臣の留任を條件にその希望を聽取し、軍部をして新內閣を不安なく援助せしめんとする用意に出でたもので、岡田新首相も軍部の要望に基き閣僚には全部人格經歷上無疵の者を選任し、拓相は將來の政策遂行上兼任として齋藤前內閣以來軍部が提唱しつゝあつた諸政策實現に誠意ある態度に出た事である從つて軍部も新內閣に對しては極力援助を惜まず、岡田新首相をして政策實現を

＝容易＝ならしむる樣努力すべく床次氏一派も勿論前內閣に對する政友會の傍觀的態度を捨てゝ積極的に後援すべく民政黨又與黨として善處すべきは明かであるから、前內閣の延長とは言へ非常時局突破に適切なる强力內閣としてその前途は多大の期待を以て觀られてゐる

### 本年の北滿農作物 降雨で不作か

【ハルビン國通】降雨續きの爲めハルビンを中心に北部地方の農作物は南部地方より惡く又害蟲の被害も有り、昨年度より品質不良と觀られてゐる

### 栗山條約局長 門司で語る

【門司國通】滿洲國視察を終へて歸任の途、栗山條約局長は門司で左の如く語つた

滿洲國に於ける治外法權撤廢準備交涉は進捗し、之に對しては目下蔣介石氏の腹臣黃秉衡、張惠長等が頻りに準備を進めてゐる

### 國府空軍大擴張

【上海六日發國通】國民政府軍政部は軍事委員長の提議に依り現在の航空署の改組大擴充を行ひ、蔣介石氏を委員長に推すに決し、支那空軍大擴充のためには目下蔣介石氏の

### 滿鐵辭令

准備 濱邊義男
同 高橋信昌

甲種傭員を命ず新京機關區機關手を命ず



# 歷代內閣更迭物語

（三）

此の短命なる憲政黨內閣の次には、山縣第二次、伊藤第四次兩內閣を經て桂第一次內閣が出來た、これは明治三十四年から日露戰爭を經て三十九年まで前後實に四年七ケ月續いたのであるが、散り際は大して華々しくなかつた、桂內閣の次に出來たのが西園寺第一次內閣で此の內閣の辭め方は非常に變つてゐる、と云ふのは此の內閣は政友會を基礎として出來たのであるが、其政友會は明治四十一年の總選擧に政府黨として戰ひ絕對多數を得て、內閣の基礎は益々鞏固を加へ、一般から多大の期待をかけられてゐた折も折、西園寺は各閣僚と共に病氣を理由に突然辭表を捧呈してアッサリ辭めてしまつたのである

×

何故に西園寺がかゝる突飛な行動に出たか其の原因については種々の觀測が行はれてゐるが、通說の一つとして官僚一派による毒殺說がある、即ち桂をはじめとする官僚一派は財政經濟政策で內閣を倒すことが出來ないのみか、總選擧の結果却つて其の基礎を鞏固にしたから、執拗なる彼等も遂に萬策つき、西園寺の社會運動に對する自由主義的態度をもつて國家を破滅に導くものなりとて、種々陰謀を廻らしたと云ふのである

×

これは大體眞相にふれた說と信ぜられてゐるが、西園寺の此時に採つた態度は立憲政治家としては實に驚くべきものである、彼が斷乎たる態度をもつて所信に邁進する勇氣があれば、かやうな毒殺的陰謀のごときは粉碎してしまつてきであつた、西園寺の逃避的性格は、その辭職の理由を與黨にも國民にも明瞭に說明せずに終つてしまつたのは遺憾である

西園寺公望

×

西園寺第一次內閣の次に出來たのは桂第二次內閣、その次は又お鉢が西園寺に廻つて西園寺第二次內閣が出來た、有名な大正の政變が起つたのは實に此の西園寺第二次內閣の時であつて、西園寺公も總理大臣としては散々な目に會つたものである

×

第二次西園寺內閣は陸軍側のストライキによつて倒れた、即ち此の內閣の陸軍大臣上原勇作は陸軍の二個師團增設を主張したが西園寺首相、山本藏相（前の山本內相）をはじめ其他各閣僚の反對に遭つて自說の通過しないと見るや帷幄上奏の意味で 新帝陛下に拜謁を請ひ奉り非立憲にも單獨辭表を奉呈してしまつた

×

驚いた西園寺は軍閥の大御所である山縣公を訪ねて、陸相後任の推薦を懇請したが、山縣は拒絕してこれに應ぜず、西園寺は陸軍大臣を得られないばかりに辭職を餘儀なくさせられた、これは大正の政變としてわが憲政史上に異彩を放つてゐるものであるが、この事件を通して我々はわが內閣對軍部の關係は實に明瞭に見得るのである

×

此の增師問題は表面的には滿蒙の特殊利益擁護、朝鮮の治安維持といふ國防上の必要から出發したものとなつてゐるが四圍の客觀的情勢から判斷すると山縣、桂等の官僚軍閥が其出現の當初より不快に思つてゐた西園寺內閣を爆破するために用ひたことは明瞭であつてたまたま陸軍大臣上原が工兵科出身で爆破はお手のものだつたので、かくも見事に目的を達したわけであつた

×

西園寺內閣が二個師團增設問題の地雷火にふれて見事に爆破した後、その次に出來たのは在任僅か五十五日と云ふ最短レコードを誇る（?）桂第三次內閣である、此の內閣は囂々たる輿論の反對裡に生れ遂に輿論の反對のために辭職を餘儀なくされたが、其の辭め際は正にドラマチカルであつた

### 人事往來

▲藤井重郎氏（靖安軍少將）七日午後三時二十五分着哈市から同日午後四時三十分發南行
▲フリート氏（ユーナイテッドプレス社記者）八日午前七時着哈から同日午前九時發南行
▲ラザリゲリフェル氏（上海北鐵商業支部長）八日午前七時着大連から同日午前八時三十分發哈市へ
▲范其光氏（北滿鐵路理事）八日午前八時三十分發哈市へ

### 團体

▲京城帝大生十一名八日午前六時來京扶桑旅館投宿
▲海濱聚落參加生二百名八日午後十時發南行
▲第二回太平洋佛教靑年團三十一名八日午後四時三十分發內地へ
▲光州驛主催團十五名九日午前七時來京同日午前八時三十分發哈市へ十日午後三時二十五分歸京愛國旅館投宿
▲島根縣會議員九名九日午後四時來京淸津から國都ホテル投宿十一日午前八時三十分發哈市へ

# 全新京排球界の「覇權を競ふ」

## 本社主催、第二回大會近く 各方面俄然活氣！

近頃すばらしい体育ボール熱の勃興鑑みて昨年夏第一回全新京排球に選手權大會が本社主催、新京体育聯盟後援の下に盛大に行はれたが、今年はその第二回を來る廿九日又は來月五日開催の豫定で、いづれ近く關係者の打合會議を開いて決定することになつた　昨年の大會は八月二十七日西廣場小學校庭で行はれ參加十チームを數へ最後は鐵道事務所軍勢學校A組によつて爭覇が決せられ、榮えある優勝の榮冠は遂に鐵道軍の手に歸したが、今年は前回以上に參加チームも増加する見込であり、いづれが本社寄贈の優勝盃を贏ち得るかは全く想像の外にあり、多大の興味を以て待たれてゐる、なほ詳細は追つて本社々告を以て發表されるはずである

## 大會を前に愈よ火蓋切る

### 地事軍の各係對戰

本年第二回を擧行されるはずである我社主催の全新京排球選手權大會をめざして、新京地方事務所では九日から事務所前で所内各係体育ボール戰を連日引續き開催することになつた、なほ最後の優勝試合は二十二日行はれ優勝チームには土肥カップが授與されるはず

A組建築、機械各係、B組地方係、C組、庶務、涉外勸業各係、D組土木係、E組經理係

- 第一日（九日）A—C
- 第二日（十日）D—E
- 第三日（十一日）C—B
- 第四日（十二日）A—E
- 第五日（十三日）B—D
- 第六日（十四日）C—E
- 第七日（十六日）A—D
- 第八日（十七日）B—E
- 第九日（十八日）C—D
- 第十日（十九日）A—B

雨天の場合は順延のはず

## 萬屋旅館からも哀れな子供に同情金

リンを多量に服用し意識を失つてゐるを家人が發見し、直に同仁醫院に收容應急手當の結果生命はとりとめた

哀れな子供の記事が本紙に掲載されるや毎日のやうに各方面から同情がよせられてゐるが八日は日本橋通萬屋旅館の女將から氣の毒な子供へと三圓を本社に寄託した

## 京圖線けふも二時間延着の豫定

水害のためきのふ二時間も延着した京圖線旅客上り第五十二列車は八日もきのふと同樣二時間延着となり午後六時到着の豫定

遺骨の迎送などで涙ぐましい程の活動を續けてゐるが、けふの日曜も朝から露月町兵士ホーム會員總出で在京兵士にお茶の接待、晝食の接待、さてはピンポンの相手、麻雀の相手となりレコードをかけるなどいよいよ兵士ホームは聯合婦人會々員によつて擴大されて來た

## 遺骨二十体 十三日新京着の豫定

十三日午後三時二十五分新京着列車でハルビンから第〇〇國所屬の故渡邊曹長以下二十体の遺骨が新京に到着、翌十四日午前十一時三十分發列車で南行の豫定

## 軍隊移動 皆さん送迎しませう

關東軍〇〇〇隊〇〇名は歩兵〇隊〇〇名とゝもに九日午前一時吉林から新京へ到着するなほ〇〇〇隊〇〇名は八日午前八時三十分發列車で吉林へ出發した

## 朗かな兵士ホーム 聯合婦人會員總出の接待

國防婦人會との合同問題が惹起されて以來頓に世人の注視の的となつてゐる新京聯合婦人會はますます結成當時の趣旨に基き軍隊慰問、傷病兵、

## アダリンを飲み過し 銀行員生命危篤

中央銀行々員台灣人高惠（二四）は八日午前三時ごろアダ

## 結社及び集會等取締規則公布さる

吉澤總領事の名により五日附新京總領事舘令第四號をもつて十五條から成る結社及び集會等取締規則を公布された、詳細は八日本紙朝刊にあり

## 新京チーム朝鮮へ遠征 立教と對戰後十四日出發

大連を經て近く來征することになつてゐる立教大學野球チームは來る十三日來京の豫定であるが、大連での試合の結果、一兩日早く十一、二日頃來京の豫定である、なほ新京野球チームは立教軍と對戰後來る十四日出發、朝鮮へ遠征し京城、龍山、平壤各チームと試合のうへ、歸途安東にも立寄り同地チームと對戰のうへ一週間の豫定で歸還することになつてゐる

## ボーイ集金を持逃げ

日本橋通三十八番地飲食店ダルマ壽司熊澤悦藏氏方ボーイ冠金泰（二三）は六日午前六時ごろ得意先から集金百七十二圓を横領し行方不明となつた、目下新京署で犯人搜査中である

二百二十圓と同家長女妙子さんの書齋にあつた指輪二個を窃取し三疊の窓から逃走した形跡があるので直に新京署に屆出た、同署から係員が急行檢證を行つた結果犯人は内部の事情に通じてゐるものゝ所爲とにらみ目下搜査中である

## 新京木材公司にドロボー 犯人は内部か

永樂町三丁目三十一番地新京木材公司こと藤岡織太郎氏方へ八日午前零時から同五時の間家人就寢中何者か侵入し二階三疊の開き簞笥内から現金

## 公主嶺見學 惡天候のためとうとう中止

新京驛ビューロー共同主催本社後援の公主嶺農事試驗場見

## 燦々と射る陽光の下 夏休は樂し

### 室町、普通兩小學校の栞

靑空の下、子供達にだけに許された夏の世界は伸びて行く學校から放たれたこの夏を見童はどうして暮すか夏休みの栞を室町小學校と普通學校にきく

### 室町小學校

休暇七月十三日から八月十九日まで

○召集日
休み中の集會
七月廿五日　午前八時
八月　十日　午前八時

同日役員會を催す
○早起會（お話、ラヂオ体操、その他）
尋三以上
七月廿九日より八月三日迄
毎朝午前六時校庭へ集合
尋一、二年
八月十四日より十九日迄
毎朝六時校庭に集合

休み中の課題
- 一、讀方と綴方
- 一、讀書梗概
- 二、日記文
- 三、旅行文
- 四、新京の文章集め
- 五、新京の風景
- 六、十年後の新京
- 七、内地の友へ新京の樣子を知らせる文
- 八、新京いろはかるた
- 九、思ひ出の記
- 十、童謠、短歌、俳句

書方

地理
- 一、大日本帝國、大滿洲帝國地圖
- 一、主要な役所と學校の分布圖
- 二、新京案内地圖の作製
- 三、自分の家の附近の地圖
- 四、產物の調査
- 五、レッテル蒐集

國史
- 一、新京發達史
- 二、長春城の由來と區劃
- 三、新京附近の傳說
- 四、新京附近に於ける永沼挺進隊の活動
- 五、清眞寺
- 六、大屯の遺跡について
- 七、日本精神の現れ

理科
- 一、植物の採集
- 二、昆虫の採集
- 三、工場の見學
- 四、玩具の製作
- 五、天氣調べ
- 六、夏の果物の種類とその斷面圖
- 七、トンボ、蠅、蚊などの卵から成虫になるまでの變化の觀察研究
- 八、水溫調べ

圖書
- 一、新京八景
- 二、街頭スケッチ
- 三、旅行地の寫生

手工
- 一、粘土細工
- 二、廢物利用並に創作的作品

### 普通學校

十六日から八月十六日まで

補習科
農業實習毎週火、金曜日寬城子農場の手入れ
早起會（ラヂオ体操、競技等）七月二十一日、二十五日、八月一日、五日、十一日、十五日
場所
（一）西公園誠忠碑前
（二）寬城子大同學院前
（三）南嶺兵舍前
（四）鐵道北發電所前
集合時間午前五時學校召集（課題の調べ）八月一日午前八時滿鐵農業實習講習會三訓導出席熊岳城農業實習所における滿鐵主催の講習會に催、金、朴三訓導が出席する、期日は七月十八日から二十日まで

# 敏子孃を待つ新京

## 豐富な聲量を 纖細なテクニックで歌ふ 陶醉にひたるその日

世界樂壇に輝く明星、われらが歌姫關屋敏子孃晴れの都入りも間近い

若さと健康をひたすら精進に献げ、今ぞ報ひられた天才トシコ、セキヤのコロラチュラ　ソプラノが街のポプラをうるほす夏宵の歡喜、これぞ新京の誇りである、豐富な聲量を纖細なテクニックで秘めた情熱を歌ふ余りにも日本的な彼女の唄、藝術にのみ許された陶醉の境地こそ本社が昭和九年夏の新京に贈る最大のプレゼントである　滿洲音樂界にとつて永遠に忘れられない本社主催の歷史的獨唱會、ミューズの女神のボーカルソロは來る十四、十五兩夜午後七時半から長春座で催されるがプログラムはわれらの歌姫が最も得意とする可憐な『椿姫、あゝそは彼の人か』ベーアー　ギントを慕ふ『ソルヴエージの歌』、グノーの『夜の調べ』歌劇『ルチア』などに朴歌的な『江戸子守唄』『紅からとんぼ』『女馬子唄』などを組合せた歌劇と民謠の夕である

# けふ花の日！

## 兒童、各方面を慰問 ひげのおぢさん達にこく

既報、新京日本キリスト教會日曜學校では八日花の日は午前九時から花の禮拜を行ひ、一廳みなお家にかへりまた一時ごろ教會に集り、午後交番憲兵隊、衞戍病院、新京醫院などにそれぞれ手分けして慰問に出かけひげのおぢさんや白衣の兵隊さん達を喜ばした

## 匪賊約百名 突如五常縣城を襲撃 日滿聯合軍悠々撃退

【ハルビン國通】六日午後十一時四十分頃突如約百名の匪團は五常縣城を包圍攻撃し、南門を破り滿鐵社員宿泊中の五常ホテル及び第〇〇隊司令官佐藤中將官舍前に迫つたが日滿軍のために全滅的打撃を受け撃退された、尙ほ匪團は電柱五本及び電話線を切斷逃走した

## 住吉三等主計正けふ赴任

軍政部顧問住吉三等主計正は今回内地へ榮轉、八日午前九時發鳩で赴任した、驛頭には多田少將を始め日滿兩國軍部關係者多數の見送りがあつた

## 米國學生棉業視察團 十二日來京

【奉天國通】テキサス州學生棉業視察團一行六名は八日午後十時五十分安奉線にて來奉ヤマトホテルに四泊、其の間撫順見學をなし、十二日奉天發新京に向ふが、一行は滿洲に於ける棉花の栽培狀態視察傍々日滿兩國間の棉花需給關係等につき調査する筈である

## 埼玉縣の水爭ひ 遂に流血の慘事

【東京國通】數年來稀に見る旱魃に全國農產物被害は甚大で、各縣に水爭ひの悲劇を演じて居るが、六日埼玉縣大里郡で三千名の農民が水爭ひから凄慘な石合戰となり、双方重輕傷者を出した、なほ鎭壓に向つた警察隊十數名も重輕傷を負つた

## 江橋驛の混合保管 受寄手續制定

今般松花江下流河筋發大豆の江橋驛に於ける混合保管受寄取扱手續が左記要項により制定せられた

一、左記大豆に適用す
（イ）發地　松花江河筋、三姓、安克力、佳木斯、樺川、富錦
（ロ）出庫地　大連埠頭
（ハ）出產年度　昭和八年九年の兩年度產
（ニ）期限　十月三十日迄

## 海軍水上機出發延期

駐滿海軍部發表＝八日早朝雄基發ハルビンに向ふ豫定の海軍水上機は天候不良の爲、九日出發に變更された

學、軍隊慰問旅行はとうとう惡天候のため取止めとなつた應募者はそれぞれ申込箇所へ拂入金額を受取に行かれたい

## 賓北線けふ中には開通

賓北線水害のため列車不通となり、海北、宋家間は六日から五百メートルの徒歩連絡を開始してゐるが、八日中には列車開通の見込み

## 滿洲里の街は全く平靜

【滿洲里國通】國境線に於けるソ聯兵の活潑なる動きに危惧を豫想された當地も遂に何事もなく一日を峠に人心は漸次鎭靜に歸し今日もそぼ降る霧雨が國境の山々を包み滿洲里の街は常と變らぬ平靜狀態に明けた

## 街の日記

### 故内藤湖南博士あす追悼會

既報の如く内藤湖南博士の追悼會は九日午後二時より高等女學校に於て擧行されることになつたが、仄聞するに皇帝は四十年來滿洲學術のため專念せる故博士の逝去を悼み匾額を賜ることになつたと云ふ事である、同追悼會が鄭孝胥、羅振玉、寶熙、榮厚氏等滿洲國人側の發起文に故博士の深淵なる支那學の蘊蓄と人格とがしのばれる、博士の學問は凡そ東洋に關することなれば通ぜざることなく該博な東洋學者として佛國のペリオ氏滿洲國の羅振玉氏、日本の内藤博士は内外に常に併び稱せられたものである、故博士は昨年十月滿日文化協會組織のため病軀を省みず來滿したが、其折は近親門生の諫言を斥け最後の御奉公として日滿學界のため悲壯な決心をもつて渡滿されたものである

### 滿電新京支店の新バス到着

滿電新京支店では既報の通りバス現在の營業線の外大經路線大同線の二系統運轉の許可申請中で不日許可される筈なので之に備ふるため新車十五輛を購入既に到着、七日正午日滿各界の代表三十數名を招待し試乘を求めたが何れも最新式の乘心地よいもので好評を博した

### ひとの道 熱海師來京講演

ひとの道教團大阪本部から布教のため渡滿した准教祖熱海檢次師は九日午後七時三十分着鳩で新京に到着、約一週間滯京西七馬路二號ノ一ひとの道教團新京支部で講演をなす由

### サーカス團來京

七日から向ふ二十日間中央通り西公園前八島橋畔で毎日午後零時三十分からと、午後七時から死線を越ゆる驚異的曲技、人類に挑戰する猛獸演藝等々洋犬に猿公、その他民衆娯樂など、觀覽料は一等七十錢、二等五十錢、三等三十錢小人二十錢、團体は特に割引がある由

### コロムビア八月新譜發表

コロムビア新京駐在風保氏は六日午後市内精養軒に新京蓄友倶樂部員を招待八月同社新譜發表會を催したが優秀版二百餘枚の新作孰れも七月二十五日より市内蓄音器店より一齊發賣の筈であるが殊に好評のもの二、三左の通り

流行歌では松平晃吹込躍る靑春、丸山和歌子のこの溜息、浪花節では酒井雲のお千代の貞操（續）落語は金語樓のラヂオスケッチ、川畑文子のジャヅソング、思出のハヴアナ、に松平、關種子の酒くめど、砂山の花二三吉中野忠晴の昭和盆踊り等々好評期待せられてゐる

▲……ント……ん……か……らわかるじやないのセメンダル！ホ……横に轉がつた方が早いかも知れない▲別にこんな惡口いひたいのじやないけども一つ序に、序にといつちや惡いかも知れないが南海の淺香これなん稱してカマキリといふ、一つカマキリの戀でもして男を頭からムシャムシャ喰つてしまうさ（寫眞は政千代さん）

## 居住消息

▲古川米男氏吉林から八島通り滿鐵浴場階上へ
▲金子正一氏（山口縣）富士町二丁目五番地豐順棧內へ
▲平野淺市氏（三重縣）關東軍經理部工務科南新京憲兵隊現場事務所へ
▲渡邊五郎氏（神奈川縣）大石橋から室町一丁目十九番地武井方へ
▲品川金作氏（神奈川縣）奉天から日本橋通り八十六番地長倉方へ
▲種田廣吉氏（高知縣）同上へ
▲河岡六義氏（山口縣）郭家店から八島通り一丁目七番地へ
▲山崎繁作氏チ、ハルから鐵道建設局新京分所電氣係へ
▲染野勝雄氏（茨城縣）安東から同所へ

## 轉居

▲深谷富雄氏入船町四丁目三番地から梅ケ枝町三丁目十四番地ノ二へ
▲深野正治氏祝町五丁目六番地から平安町一丁目十一番地へ

## 仙人掌

▲ミカサのミドリ非常な俠氣の持主、つい先日日本橋通りで大立廻りをやつてゐるのを見て『アタシが男だつたら勝つた方の奴をノシてしまふんだけど』と、か細い腕を捲り上げてゐました、ミドリ本當に女に生れてよかつたよ……
▲サロンフジのダリヤ洋裝はトテモお似合です、口の惡いのが『あたりまへぢやネエかあれは少し血が混つてゐるんだ』はさうでもないでせう、たしか彼女は熊本縣の產です
▲開花のオモチャ一名グラウンドといふです、その理由？御覽なさい額の面積がグラウ

## ラヂオ

九日（月曜）新京放送プログラム

- 前　六、〇〇　ラヂオ体操
- 同　八、〇五　經濟市況（東京より）
- 同　八、三〇　經濟市況（同）
- 同一〇、三〇　ニュース
- 同一〇、四〇　經濟市況（東京より）
- 同一〇、五九　時報
- 同一一、三〇　レコード（滿語）
- 同一一、四〇　ニュース（同）
- 後　〇、〇五　ニュース
- 同　〇、三〇　經濟市況（東京より）
- 同　一、〇〇　經濟市況（奉天より）
- 同　二、五〇　演藝
- 同　三、二〇　レコード（滿語）
- 同　三、三〇　演藝（同）
- 同　四、三〇　蓮香班　二鳳
- 同　四、四〇　經濟市況
- 同　四、五〇　ニュース（東京より）
- 同　五、〇〇　ニュース（日滿語）
- 同　五、三〇　經濟市況（奉天より）
- 同　五、五五　ニュース（滿語）
- 同　六、〇〇　ニュース（鮮語）
- 同　六、二〇　ニュース（英語）
- 同　六、四〇　子供の時間（奉天より）
- 同　七、〇〇　時事解說（滿語）
- 同　八、〇〇　氣象豫報
- 同　八、三〇　プロ豫告（滿語）
- 同　八、四五　ニュース（東京より）
- 同　九、〇〇　滿語講座　講師　高宮盛逸
- 　　　　　　　日語講座　講師　植松金枝
- 　　　　　　　趣味講演の夕（東京より）
- 　　　　　　　大衆文學の取材を語る
- 　　　　　　　ピアノ獨奏
- 　　　　　　　（東京より）ルネフロリー
- 　　　　　　　時報ニュース（同）
- 　　　　　　　ニュース
- 　　　　　　　氣象豫報　プロ豫告
- 　　　　　　　ニュース　演藝（滿）

## 新版江戸八景

行友李風氏習作　鏑木平八郎二氏畫（無斷上演を禁ず）

### 九六　根岸の寮　二

日岐武志

按摩（一）

『金助、もうちよいと、下の方よ』

お卿は、あちら向きに横臥したまゝ、夜具の中で身をくねらせた。

『へえ』

金助は、蒸れるやうな夜具のぬくもりに、差入れてゐる兩手をねちくと汗ばませてゐた。

『こゝら、あたりなんで……』

『いえね、も少し……』

『へえ』

『そ、そのへんよ。思ひきつてやつておくれ』

『へえ』

金助は、お卿のふくよかな腰のあたりを、襦袢の上から、ぎゆッと、指先に力を入れた。

『あーッ』

痛い肌のこゝろよさ、魘くやうな聲とゝもに、お卿の總身は、夜具の中で、波打つやうに喘いだ。

『ちッと、きつすぎたやうで』

のつぺりとした顔立ちのやうでゝ、どことなく暗い一瞬、やくざな遊びもん風情特有の、鋭い光のある眼にうすい笑ひを浮べて、金助は指先の力をゆるめやゝとした。

『いゝえね、いゝのさ』

『へえ』

痛いやうな痛さが、腰から背筋をずーんと突ッぱしる快感を耐へてゐるお卿。

『いゝのさ。かまはんから、もつときつく、やつておくんなさい……』

『へえ。ようござんすか。ちッたア、我慢しなくちや、こんなきつい凝りは、拔けッこはねえですよ』

腰のあたりの、張りきつた肉をぎゆッとつまんでほぐす毎に、魘くやうな女の肌のをのゝきを、指先に妖しく感じながら金助は、亂れかけた襟の下から、ほのぐとのぞく白い肌の色を、いつもながら憎みたいやうな眼で盗み見た。

そして、うすく、ニヤくと笑ひかけた。

『なるほどね。こいつはね』

『なにがさ。こいつはッて』

『へえ』

『へえ、ぢや、わかんないよ』

江戸の淺い春の陽が、南向きの障子にあかるく白く、どこかの梢に鳴く鶯の、すきとほるやうなのどかな聲もきこえる。根岸の寮はいつそわびしいばかりの靜けさ。

『なにがさ。え？』

金助はニヤくしながら、枕の上に崩れた亂れのまゝの、うるしのやうな髪のつややかさと、そりの落した眉毛のあとの青さと、その白い横顔をちらくと眺めてゐたが

『へえ、なあにね、この大そうな凝りは、夕べ、岡文の旦那の、つまりくだいて申しあげると、情の後の置土産ッてえわけで、ね、ご新造、金公けこれで、お察しは人並にえゝ方なんで』

『ふン。ばあかね』

とうーんと、今迄氣拔してたやうなまなざしが、金助の饒口に誘はれるやうに頬笑んだ。

『すまいないね、心配してくれて。お亂のいふ通り、旦那の置土産さ、ホホホ……』

『すません。ごちさうさん』

『肩を揉みませうか、などと朝ッからやつてくる野良猫は、夕べまた、裸にされたんだらう』

『野良猫とはけなや。だがね金的さ。丁と半とを代りばんこに打つ手打つ手がみな外れ、夜明迄に一兩二分がさつぱりと……』

『めづらしくも、ないね』

『思ひ出しても、癪ッ腹だア』

金助は、わざとぎゆッと指先に力を入れた。

『おゝ痛ッ、金助』

---

七月九日　月曜　辛己　友引　開　危宿　五月廿八日

●一白の人　一身の安危に關る日親睦を旨として可なり申と辛と丑が吉

●二黒の人　勝氣に任せ虚勢を張りて損害を蒙る日なり坤と壬と癸が吉

●三碧の人　鬱結せる氣も解けて勇氣次第に奮ひ起つ日甲と辛と寅が吉

●四緑の人　實力相應の進展を來たす日病厄盗難等注意辛と亥と寅が吉

●五黄の人　障碍に阻止せられて志望の滿足を期し難し甲と巽と申が吉

●六白の人　順航を續けて船舶無事に港に入るが如き日丁と申と癸が吉

●七赤の人　小利なりとも實收に甘んじ定業を勵むべし甲と丁と癸が吉

●八白の人　苦境に伸吟し氣を焦りて益身動きならぬ日巳と申と癸が吉

●九紫の人　善しと思ひたる事に手を出して後悔する日庚と辛と亥が吉

---

**大阪商船出帆**

門司、神戸（大阪）行

×印二三等船客設備船　▲印廣島寄港

（午前十時大連出帆）

| 船名 | 出帆日 |
|---|---|
| 扶桑丸 | 七月十日 |
| はるびん丸 | 七月十二日 |
| うらる丸 | 七月十三日 |
| 香港丸 | 七月十四日 |
| ×たこま丸 | 七月十六日 |
| うすりい丸 | 七月十七日 |
| ばいかる丸 | 七月十八日 |
| ×志あとる丸 | 七月十九日 |

切符發賣所　滿鐵沿線主要各驛及各地ジヤパンツーリストビユーロー案内所

船車連絡切符（往復切符は汽車二割引、汽船一割引、通用期間三ケ月）

大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符は復路運賃二割引通用期間三ケ月）

專屬荷扱所　國際運輸會社支店

大阪商船株式會社　大連支店電話四一三七番　奉天出張所電話四〇八九番　新京出張所電話二二一六番

---